

ペテロ
第一
⑥

苦難を喜ぶ 信仰の根拠

ペテロの手紙第一4章

信仰の戦い・信仰者の試練

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

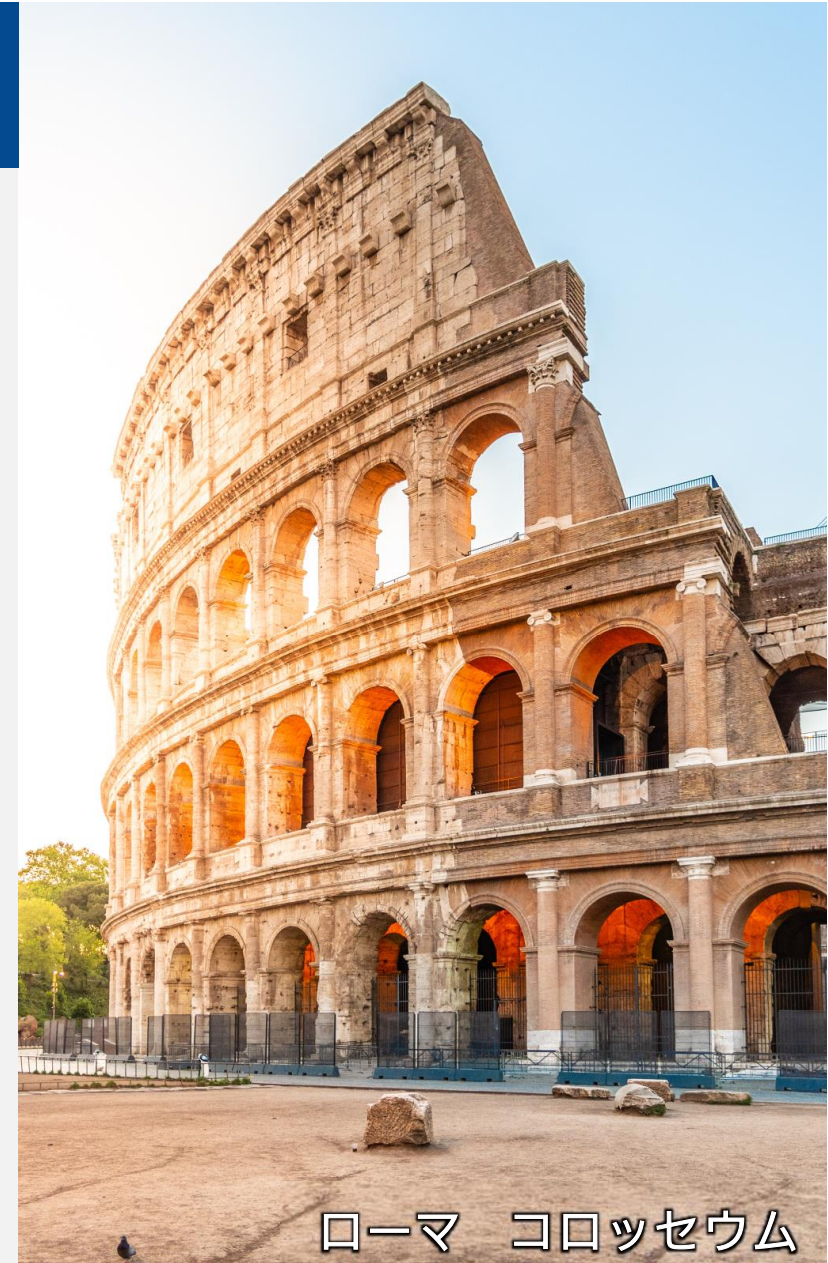
I. 信仰者の戦いの本質 4:1～11

II. 試練を喜べ 4:12～19

III. まとめと適用

苦難を喜ぶ信仰の根拠

聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会



ローマ コロッセウム

ペテロの手紙第一とは？

- 著者 …使徒ペテロ
ユダヤ人の使徒(柄2:8)
- 宛先 …小アジア(トルコ)の
離散(ディアスポラ)の
メシアニック・ジュー
- 執筆時期・場所
…バビロン(5:13)、古来の離散の地
- おもな目的 …迫害に苦しむ
信者の励まし



ペテロとは？

- ガリラヤ湖の漁師(網元)。
既婚。兄弟はアンデレ。
- 洗礼者ヨハネの弟子から、
→メシアの弟子 →フルタイムの弟子
- 12使徒。イエスの変貌を目撃。
素直な信仰。挑戦と失敗、悔い改め。
教会指導者として任命。
- 聖霊降臨後、福音宣教の先端を拓く。
おもにユダヤ人伝道を担う(ガラ2:7)





I. 信仰者の戦いの本質

ペテロの手紙第一4:1～11

ローマ コロッセウム

奨励 信仰者の武装 ペテロ4:1～2

キリストは肉において苦しみを受けられたのですから、あなたがたも同じ心構えで自分自身を**武装***しなさい。肉において苦しみを受けた人は、罪との関わりを断っているのです。

それは、あなたがたが地上での残された時を、もはや人間の欲望にではなく、神のみこころに生きるようになるためです。

＊ホプリゾー…“武装していただきなさい”

➡罪との関わりを断ち、主の御心に生きる

■聖霊によってもたらされる



奨励 異邦人同様の罪 ペテロ4:3

あなたがた*は異邦人たちがしたいと思っていることを行い、好色、欲望、泥酔、遊興、宴会騒ぎ、律法に反する偶像礼拝などにふけりましたが、それは過ぎ去った時で十分です。

＊離散のユダヤ人(ギリシャ語を話すユダヤ人)

…長年、ヘレニズムに侵されてきた人々

■アレキサンダー大王以降、イスラエルは、人間中心のギリシャ文化の影響下に!!

ヘレニスト VS ヘブライニスト
(パリサイ派) (サドカイ派)



奨励 主イエスの裁き ペテロ4:4～5

異邦人たちは*、あなたがたと一緒に、度を越した同じ放蕩に走らないので不審に思い、中傷しますが*、彼らは、生きている者と死んだ者をさばこうとしておられる方*に対して、申し開きをすることになります。

*異邦人からの迫害➡ローマによる迫害？！

*再臨の主イエス・キリスト



奨励 福音 ペテロ4:6

このさばきがあるために、**死んだ人々***にも生前、福音が宣べ伝えられていたのです。彼らが肉においては人間としてさばきを受けても、霊においては神によって生きるためでした。

***福音を信じて死んだ人々…殉教者たち？**



奨励 終わりの時代の心構え ペテロ4:7～8

万物の終わり*が近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。

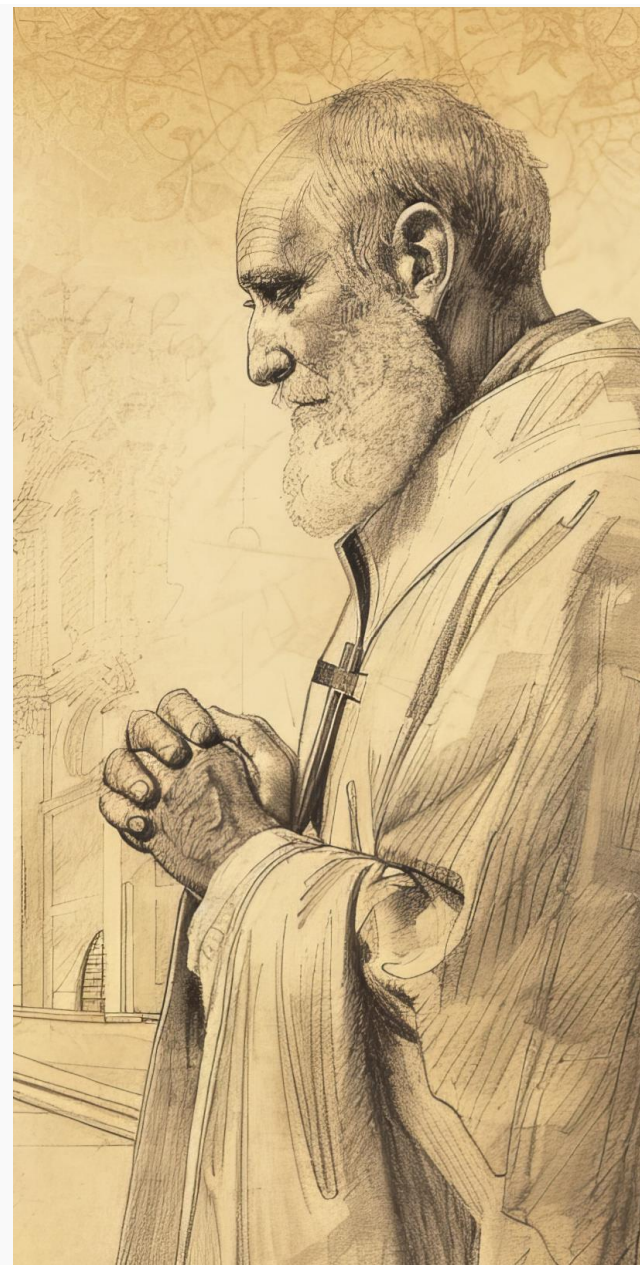
何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい*。
愛は多くの罪をおおうからです。

＊再臨の主イエスがもたらす

■携挙(空中再臨) ➡大艱難 ➡再臨の主の裁き

ペンテコステ以来、いつ始まっても!!

＊主イエスの愛をもって愛し合う



奨励 信仰者の賜物 ペテロ4:9～10

不平を言わないで、互いにもてなし合いなさい*。
それぞれが賜物*を受けているのですから、神の
様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用
いて互いに仕え合いなさい。

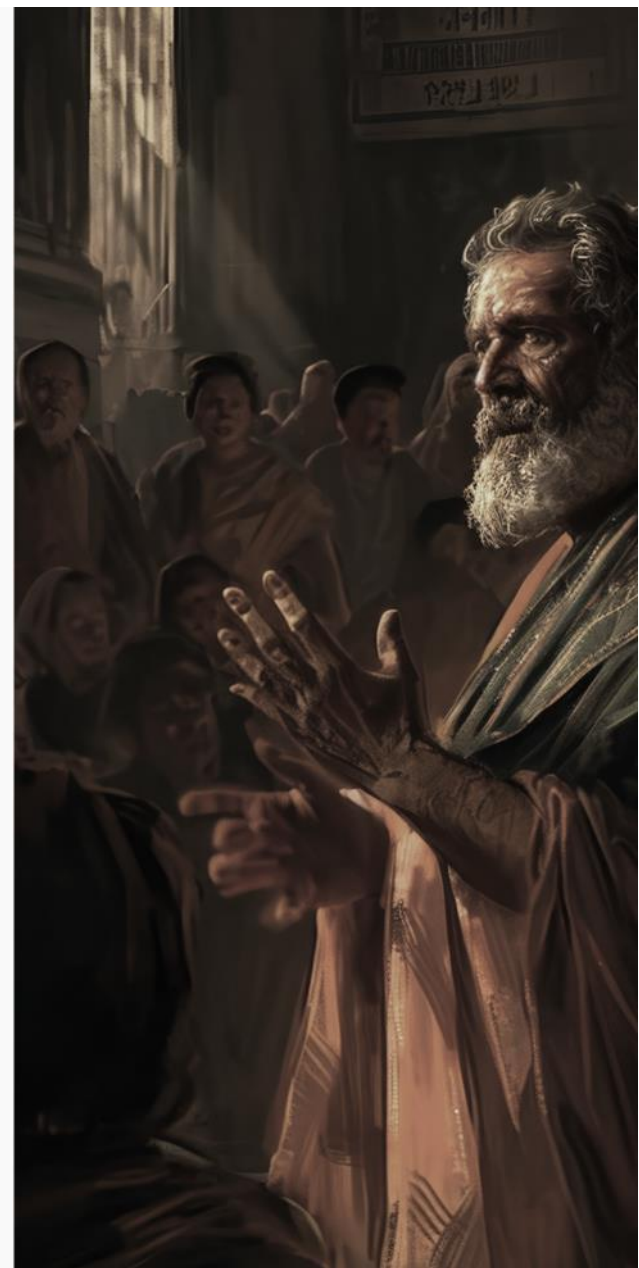
*“旅人をもてなす”…長老の資格(1テモ3:2他)

➡使命に遣わされるのが、信仰者の大前提

*聖霊の賜物…キリストの体なる主の教会に

仕えるため、すべての信者に与えられた賜物

➡派遣され、仕える中で見いだされるもの



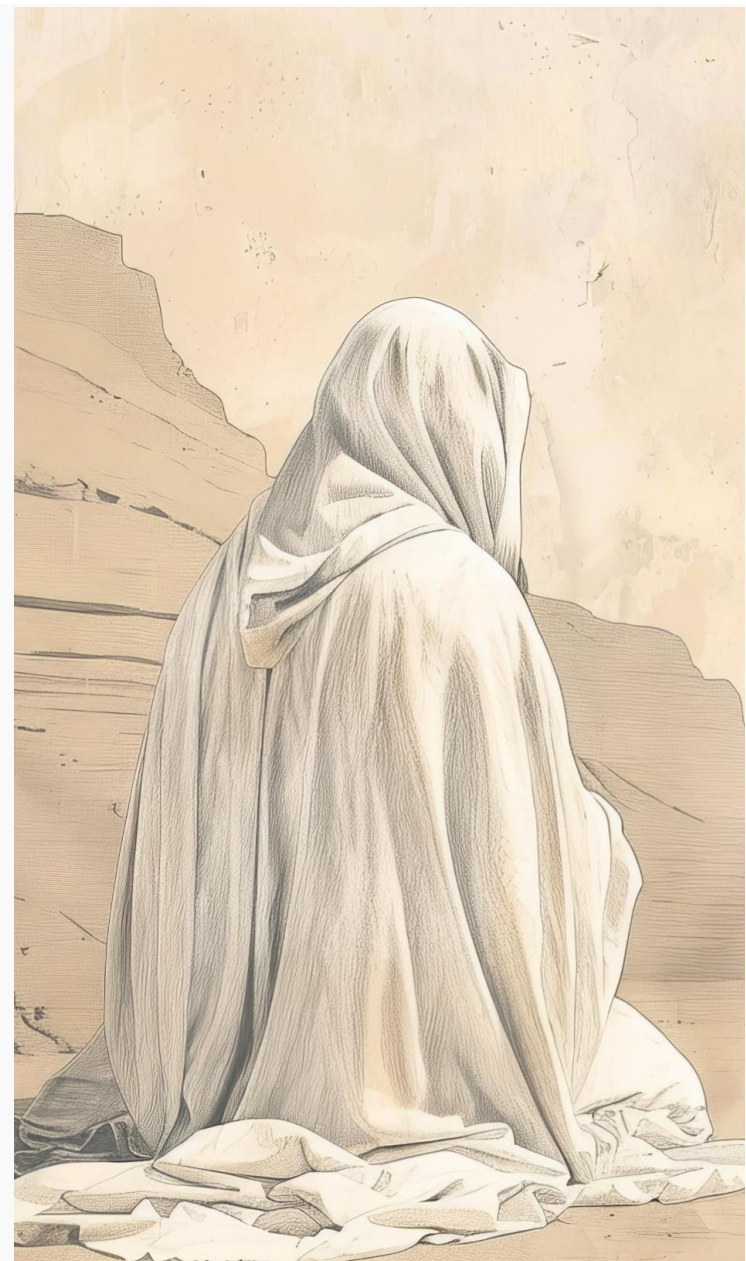
奨励 信仰者の祈り ペテロ4:11

語るのであれば、神のことばにふさわしく語り*、奉仕するのであれば、神が備えてくださる力によって、ふさわしく奉仕しなさい*。
すべてにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです*。この方に栄光と力が世々限りなくありますように。アーメン。

＊主の御言葉に従って

＊内住される聖霊の力によって

＊キリストを通し、主を讃え、礼拝する





Ⅱ．試練を喜べ

ペテロの手紙第一4:12～18

ローマ コロッセウム

奨励 試練は不審な旅人？ ペテロ4:12

愛する者たち。あなたがたを試みるためにあなたがたの間に燃えさかる試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、不審に思っ
はいけません*。

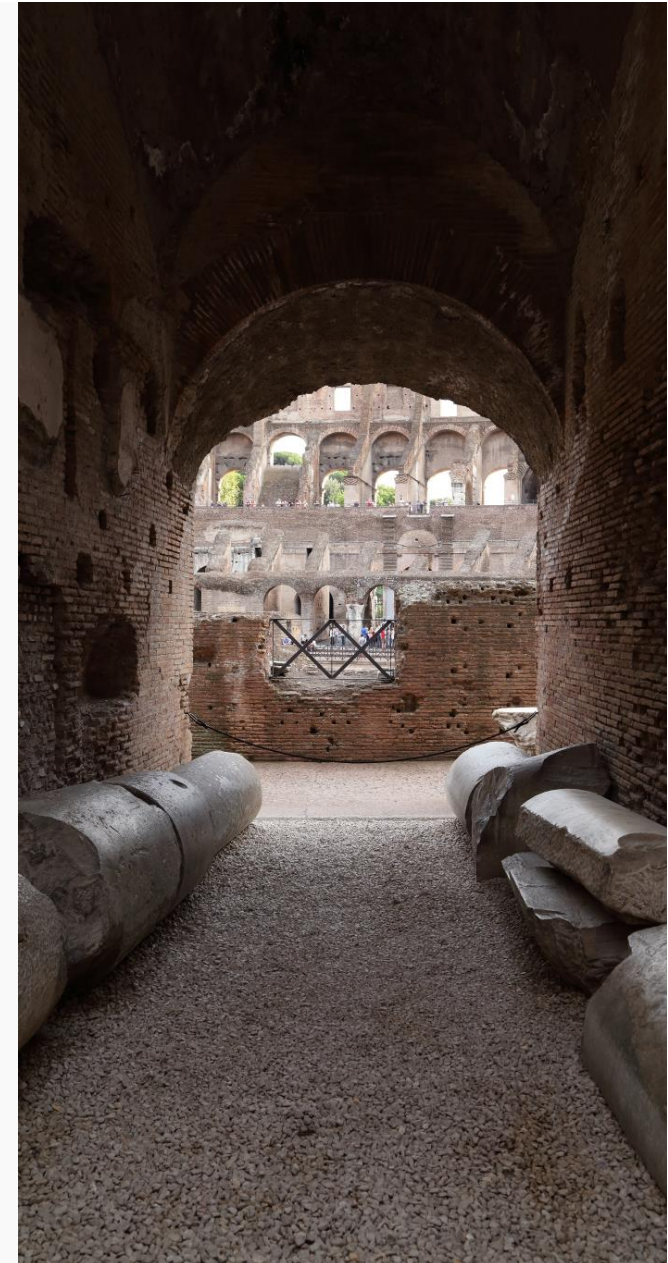
*クセニゾー…“客として泊まる(使10:6他)”

受動態だと、“怪しむ、不思議に思う”

■不意の客、想定外の出来事を怪しむのが人間。

➡信仰者に想定外はない!!

➡主イエスは死から復活し、再臨される方



奨励 キリストの栄光 ペテロ4:13

むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかる
ほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が
現れるとき*にも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

*信仰者にとっては、空中再臨・携挙の時



奨励 御心か自我か ペテロ4:14～15

もしキリストの名のためにののしられるなら、あなたがたは幸いです。栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってください*からです。

あなたがたのうちのだれも、人殺し、盗人、危害を加える者、他人のことに干渉する者*として、苦しみにあうことがないようにしなさい。

*迫害の苦難中で、主イエスが共におられる

*“他者を支配、コントロールする者”

列挙事項の共通点 ➡ 強烈な自我・自己中心



奨励 迫害と主の裁き ペテロ4:16～17

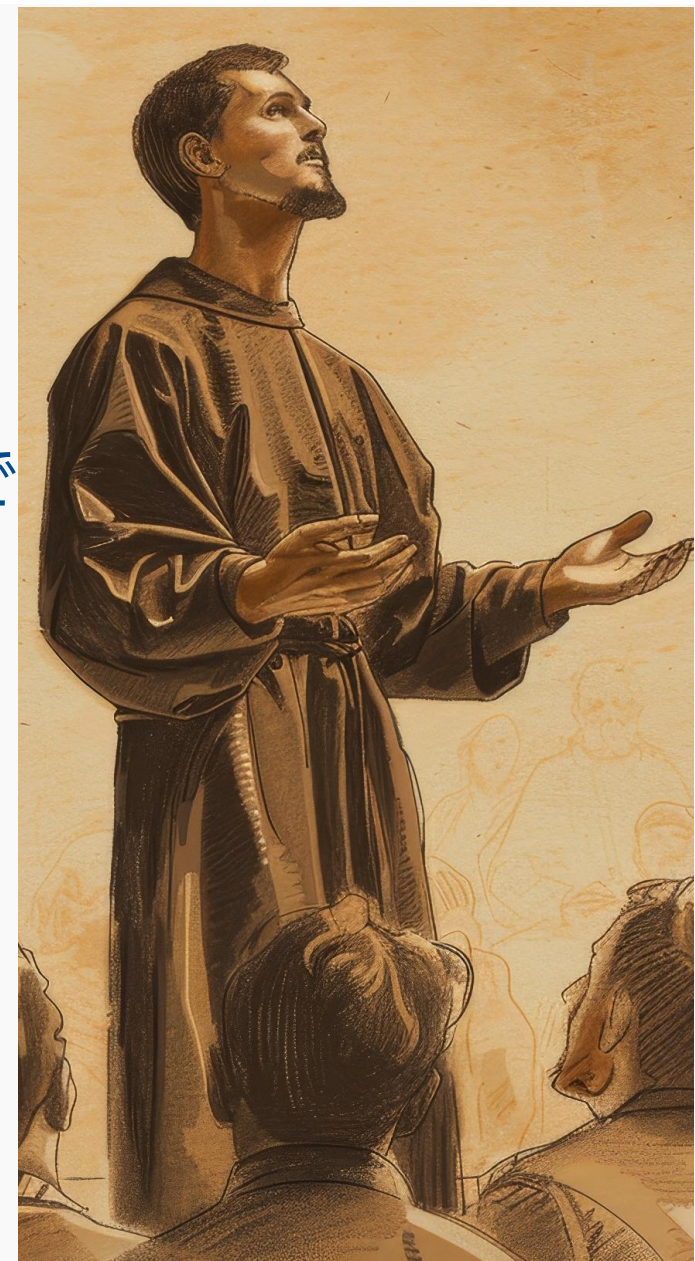
しかし、キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じることはありません。かえって、このことのゆえに神をあがめなさい。

さばきが神の家から始まる時が来ている*からです。それが、まず私たちから始まるとすれば、神の福音に従わない者たちの結末はどうなるのでしょうか。

*主の裁きは、地上の教会(信者たち)から開始

■ 信仰者 → 世で裁かれ、御国で報いを受ける

不信仰者 → 世で報われ、死後に裁かれる



奨励 救いと裁きの厳粛さ ペテロ4:18

「正しい者がかりうじて救われるのなら、不敬虔な者や罪人はどうなるのか。(箴言11:31)」

■ エゼキエル書14:13～14

「人の子よ。国が、わたしに対して罪あるものとなって信頼を裏切り、そのためわたしがその国に手を伸ばし、そこのパンの蓄えをなくし、その国に飢饉を送り、人や家畜をそこから絶ち滅ぼすとき、たとえ、そこにノアとダニエルとヨブの、これら三人の者がいても、彼らは自分たちの義によって自分たちのいのちを救い出すだけだ——【神】である主のことば——。



奨励 信仰の歩み ペテロ4:19

ですから、神のみこころにより苦しみにあっている人たちは、善*を行いつつ、真実な創造者に自分のたましいをゆだねなさい*。

*主がよしとされること＝キリストの愛の律法
＝主イエスと、聖霊による使徒たちの教え

*主を信じるとは、主に委ねること

■私の罪のため、十字架で死なれ、葬られ、
復活された主イエスを信じ、信じ続ける。

主に委ね、主に遣わされ、主に用いられる



Ⅲ. まとめと適用

苦難を喜ぶ信仰の根拠



聖化にあって、信仰の成長を導く「苦難」

■ 地上のすべての苦難の背後に、主イエスがおられる

➡ 私たちの罪のため、十字架で死なれ、葬られ、復活された、罪を断たれた主イエスを信じて、私の罪も断たれる

■ 信仰者は、世にあっては、肉による苦しみがある。

➡ 罪との関わりと断たせるために、主が苦難を与えられる

■ 世の苦難の中で、すぐることができるのは、主だけ。

➡ 主への信頼を強められ、信じ続けて変えられていく

終わりの時代の信者の使命

■ 栄光の主イエスは、間もなく裁き主として再臨される

- ➡ 十字架で死なれ、復活された、主の愛をもって愛し合う
- ➡ 福音を携えて派遣され、遣わされた者として、もてなし合う
- ➡ 福音を信じて、派遣され、用いられるところに、
聖霊が働かれ、各々の聖霊の賜物が発揮されていく

主の命令の根拠

- ①「愛し合いなさい」 → 福音を信じて救われている
 - ②「もてなし合いなさい」 → 福音宣教に派遣されている
 - ③「仕え合いなさい」 → 信じ、派遣され、用いられており、
聖霊の賜物が明らかになっている
- 「それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの
良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。」

信仰者には、試練、苦難、迫害がある

■ ペテロ4:16～17

「しかし、キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じることはありません。かえって、このことのゆえに神をあがめなさい。

さばきが神の家から始まる時が来ているからです。それが、まず私たちから始まるとすれば、神の福音に従わない者たちの結末はどうなるのでしょうか。」

■ 信仰者と不信仰者それぞれの世の歩みと結末

信仰者 → 世で裁かれ、御国で報いを受ける

不信仰者 → 世で報われ、死後に裁かれる

キリスト者の歩みを確認しよう

- ①**義認**…私の罪のため十字架で死なれ、葬られ、復活された主イエス・キリストの福音を信じて救われる。
- ②**聖化**…主イエスの福音を携え、宣べ伝えるために遣わされる。派遣され、用いられる課程で、信仰の賜物が発揮され、成長し、苦難の中でなお、主への信頼が強められていく。
- ③**栄化**…主イエスのもとへ挙げられ、栄光の体を与えられる。

★ 信じたなら、遣わされよう ★

- 主を信じた者は、主に命を委ねて永遠の救いを得た。
信じ、委ねて用いられ、遣わされて行くのが、聖化の道。
- キリストの体の一部としての働きを担っているか？
聖霊の賜物は、遣わされなければ分からず、働かれない。
- 誰かに福音を伝えようとする。➡すべてはここから
反発も迫害も当然あるが、栄光の主が共におられる。

「^{てん}天の^{とう}お父さま。わたしは、あなたに^{そむ}背き、^{つみ}罪を^{かさ}重ねてきました。
^{ひび}日々^{おか}犯してしまう^{つみ}罪をも^{こくはく}告白します。この^{つみ}罪をゆるしてください。
わたしは、^{かみ}神の^こみ子イエス・キリストが、

①^{つみ}わたしの^{あがな}罪を^{じゅうじか}贖うために^し十字架で死に、

②^{はか}墓に^{ほうむ}葬られ、

③^{みっかめ}三日目に^{ふっかつ}復活したこと、^{しん}を信じます。

^{ふくいん}この福音を^{たずさ}携えて、^{わたし}私は^{しゅ}主に^{つか}遣わされ、^{しゅ}主に^{もち}用いられます。

^{しゅ}主が^{わたし}私に^{あた}与えられた^{せいれい}聖霊の^{たまもの}賜物を、^{あき}明らかに^{しめ}示してください。

^{ひび}日々、^{みことば}御言葉に^{した}親しみ、^{しゅ}ただ主に^{しんらい}信頼し、^{しゅ}主に^{ゆだ}委ねして^{あゆ}歩みます。

^{くなん}苦難の中でも^{なか}喜ぶことのできる^{よろこ}信仰を、^{しんこう}私の内に^{わたし}与えて^{うち}ください。^{あた}

^{しゅ}主イエス・キリストの^なみ名によって^{いの}祈ります。　アーメン」